



Newsletter

2023年11月号

注目のニュース



AIPPI 本部 Secretary General 就任のご挨拶

Nazli Korkut, Secretary General

専門職であれ、自分がその一員であると感じる何らかのコミュニティーであれ、NGOの役員会に積極的に関わることは、私にとっては共通のパラメーターがいくつかあります。

まず一つ目は、ボランティアの原則に根差していること。つまり、目に見える側面（時間、知的努力）と目に見えない側面（個人間や異文化間の関係の管理、共通点を見出す努力、126年前から続く団体の信用を損なうことなく新しさ、効率性、有益性を追求すること）の両方に、個人の利益よりも全体の利益を優先させつつ貢献するということです。

二つ目の共通のパラメーターは、少なくとも私にとっては、「自己実現」の優先度が高いということです。仕事上でも個人的にも、充実感を得る方法がたくさんあるのは確かですが、一方で、私生活や仕事のさまざまな場面で、達成感や満足感を得るには、帰属意識が不可欠です。AIPPIのような知財業界に特化した団体に、ボランティアとして積極的に関わることは、私にとっては常に、高度な自己実現の行為でした。

[続きを読む](#)

その他の最新情報

AIPPI 本部の新たな役員を紹介と 2023 年 AIPPI 国際総会のダイジェスト動画

初めに、参加いただいた皆様のおかげで、記憶に残る総会を作り上げられたことに感謝申し上げます。イスタンブール総会の開催中、Annie Tsoi の後任として Nazli Korkut が **Secretary General** に就任しました。また、Regina Quek が **First Deputy Secretary General** に、Fernando Becerril が **Second Deputy Secretary General** に、Simone Vandewynckel が **Assistant Secretary General** にそれぞれ選任されました。絶えずやる気を持って本部の業務に当たってこられた役員各位に感謝します。

すばらしかった総会を回想されている方もいると思いますが、[こちら](#)からダイジェスト動画をご覧になれます。

法制度・判例解説

ジョージア

まもなく運用開始される欧州特許の認証制度

Nikoloz Gogilidze, Mikadze Gegetchkori Taktakishvili LLC, Georgia



認証協定がジョージア議会で批准されたことは、2012年から続けられた交渉の賜物です。必要な修正を加えた改正特許法が 2023 年に施行されたことで、2024 年 1 月に予定されている制度の正式な開始を前に、認証制度への加盟における技術的な側面のみが残っています。

欧州特許の認証制度がジョージアで実施されれば、欧州特許の出願人は、簡単な手続きで、欧州特許をジョージアで認証させることが可能になります。具体的には、所定の認証料金を納付し、出願書類全体のジョージア語翻訳を適切な形で作成して提出するのみで、認証手続きは完了し、ジョージアにおける独占権を取得できます。

[続きを読む](#)

インド

特許法に基づくさまざまな段階における証拠

Mohan Dewan, RK Dewan & Co, India

証拠は、提出物が事実であることを確認または説明するために使用できるものであればよく、あらゆる種類の証拠が、事件の結果を左右する重要なものと考えられます。民事か刑事かを問わず、事実を裏付ける証拠がなければ、事実の証明は無効となるため、証拠は重要な役割を果たします。



証拠は、特許庁における特許出願の審査や、裁判所における侵害や取消の訴訟におけるさまざまな段階で提出することができます。

[続きを読む](#)

日本

不正競争防止法等の一部を改正する法律

勝沼国際特許事務所 勝沼宏仁

不正競争防止法等の一部を改正する法律（知財一括法）が可決・成立し、2023年6月14日に法律第51号として公布されました。



[続きを読む](#)

カザフスタン

カザフスタンにおける実用新案の有用性 - ロシアとの比較

Yuri Bolotov, Bolotov & Partners LLP, Kazakhstan

カザフスタンにおいてもロシアと同様に、実用新案は、発明や意匠と並んで、特許の対象です。意匠特許を受けるための手続きは、発明特許よりも簡単、迅速、安価ですが、特許の有効期間は短くなり



ます。

[続きを読む](#)

PCT Committee

アフターコロナの PCT 出願に関する統計 - 簡潔な分析

Gastón Richelet, Vice-chair PCT Committee



コロナ禍の最中、知的財産のコミュニティー、なかでも特許実務者の間には、新たな特許出願、とりわけ PCT 出願の件数が減少するのではないかという懸念がありました。

AIPPI Newsletter の 2021 年 8 月号において、当委員会の Jim Boff（英国）および Dietmar Haug（ドイツ）とともに寄稿した「コロナ禍 1 年目も PCT 出願件数は引き続き増加 - 今後の予測」で述べたように、コロナ禍の初期段階では、急激な減少は見られなかったのですが、その後はどうなったのでしょうか？

[続きを読む](#)

セルビア

コソボにおいて商標登録手続きに関する新たな実施細則を施行

Mihajlo Zatezalo, Petošević, Serbia

コソボにおいて 2023 年 8 月 14 日に施行された、商標登録手続きに関する実施細則 No.08/2023 は、2022 年 7 月施行の新たな商標法で導入された最も重要な変更点に対応するものです。



[続きを読む](#)

各国部会

ベルギー部会

ベルギー部会の若者向けイベント：仮想現実とゲームと知財 - 理論と実践

Anissa El Hayani, Kirkpatrick & Emilie Blanche, Belgian Group Reporter, Belgium

10月18日の夜、毎年恒例の若者向けイベントを開催し、30名の若い実務者に参加いただきました。このイベントは、知的財産分野の若い実務者に、さまざまな観点から知財について考える機会を提供するとともに、AIPPIへの入会についてもご案内する目的で、毎年開催しています。



[続きを読む](#)

中国部会

第12回中国知識産権年會に参加

Beibei Han, AIPPI China

2023年9月19日に山東省の済南で、第12回中国知識産権年會(CIPAC)が開催されました。8000平方メートル超の展示エリアを備えた会場で、14件以上のフォーラムが開催され、出展者数と展示数は、いずれもCIPAC史上で最多となりました。



中国部会も、2023年のイスタンブール総会と2024年の杭州総会を宣伝するためのブースを出しました。

[続きを読む](#)

日本部会

英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 48, No.5)

阿部正俊

日本部会の英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』の最新号 ([Vol 48, No.5](#)) が、お読みいただけるようになりました。今号の目次を載せたのでご覧ください。

日本部会では、我が国の知的財産制度に関する情報を海外へ発信するため、英文の隔月誌『A.I.P.P.I.』を 1965 年より発行してきました。

AIPPI 会員であれば、各号のすべての内容をオンラインで閲覧可能です (ダウンロードや印刷はできません)。世界各国の多くの会員の皆様に興味を持っていただければ幸いです。

バックナンバーは、AIPPI ウェブサイトの会員ページの「Member Info」にある「Dashboard」からアクセスできます。

A.I.P.P.I.	
Bimonthly Journal of International Association for the Protection of Intellectual Property of Japan (AIPPI JAPAN) Vol. 48 No. 4 2023	
CONTENTS	
JAPANESE GROUP REPORTS	
Study Reports of the Japanese Group of AIPPI on Questions to be Studied at the AIPPI World Congress in Istanbul	177
Study Question Q284 Doctrine of equivalents By KATSUNUMA Hirohito, IMAI Masato	178
Study Question Q285 Proving Trade Mark Use By KUBOTA Etsuro, AOKI Hiromichi	193
Study Question Q286 Collecting societies By ERATA Naho, MONTEI Taketoshi	216
Study Question Q287 Responsibility of online marketplaces for online infringement of Intellectual Property Rights By YABE Kozo, SUEYOSHI Toshiyuki	226
Questionnaire (Pharm) Experimental use as a defence to patent infringement By NAKAJIMA Masaru, KOMAZANI Takachi	241
IP CASE SUMMARIES By AIPPI - JAPAN	246

今後の行事

2024 年 AIPPI Spring Meeting のご案内

Spring Meeting に今すぐ[参加登録](#)すれば、Early Bird の割引があります。

- ・ AIPPI らしい学術的な香りによる刺激と、
- ・新たなイベントの迫力や次世代の若い会員の積極的な参加による新鮮さと、
- ・美しい首都の会場にみなぎる活気と、
- ・すべての参加者とのハイレベルな交流に適した規模での、楽しい社交イベントを体験でき



ます！

すべての会員が参加できます。並行してスペイン語のセッションがあり、2月24日（土）には、日帰りツアーもあります。

©2022 AIPPI. All Rights Reserved.

<http://www.aippi.org/>

Toedistrasse 16, 8002 Zurich, Switzerland

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。

AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。